

H. D. ソロー文学の魅力を探る

文学部 英米文化学科 講師 林 南乃加

玉村町の皆さま、こんにちは。群馬県立女子大学の文学部英米文化学科の林南乃加と申します。福岡県出身で、本学にご縁を頂き、今年ではや3年目になります。19世紀アメリカの中葉に活躍したH. D. ソローの著作を専門に研究しており、アメリカ文学関連科目を担当させて頂いております。

ソローはマサチューセッツ州コンコードにあるウォールデン湖畔と呼ばれる森の中で2年2カ月の自給自足の生活を送り、自然環境を題材とした著作を書き残した随筆家です。代表作は、ウォールデン湖畔での生活を1年の季節のサイクルに凝縮した『森の生活』（1854年）で、その他多数の著作があります。学生たちと本学の「四季の庭」で散策したり、通勤途中で烏川沿いの樹木に囲まれた公園に立ち寄りたりするときに、ソロー文学の中で描かれる自然や思想について、思いを巡らせることがあります。

私が担当させて頂いている授業では、ウォールデン湖畔でのソローの独居生活やその思想について学生と自由な議論を重ねています。その度に、自然がソロー

の思想に与えた影響や、自然の対極としての文明をソローがいかに批判的に見ていたかなどについて、私自身の理解も深まり、自然を謳う文学の新たな魅力が浮かび上がってきます。本学は地域社会に開かれた大学であり、県民の方々向けの公開講座や高校生を対象とした講座等を担当させて頂く機会があります。その折には、自然を賛美するソローのエッセイを数編、取り上げています。有難いことに、受講生の方々から積極的に質問を投げかけて頂いており、講座の中で議論が深まれば深まるほど、ソローの自然観についての考察が広がります。

群馬の豊かな自然の中で、ソローの文学を、これからも本学の学生や地域社会の皆様とともに共有していくことが私の願いです。



住民自治のまちづくり

企画課
☎64-7711

平成31年度 協働によるまちづくり 提案事業 実施団体募集中

玉村町と協働して、地域の身近な課題を解決しようとする団体を募集します。役場内の各担当と事業内容や役割分担を相談して決めてから実行となります。

採用されると、こんなメリット(利点)が

- ①行政と協力関係であることがアピールできます！
- ②事業費として最大30万円の補助金が申請できます！
- ③団体の活動の宣伝にもなります！

募集事業

○自由提案事業 住民が考える地域課題とその解決に向けた行政との協働事業を募集します。

おおまかな応募要件

- 3人以上の住民で組織 ●1年以上の活動見込がある
- 営利目的・政治・宗教活動・暴力団関係でないこと

事業実施期間

2019年4月～2020年3月 ※提案事業の実施決定は3月議会議決を経てからになります。

応募期限

12月27日(木) ※企画課が窓口となって、役場内各担当と事業化に関する相談・協議を仲介します。初歩からの相談でも構いませんので、お気軽にご相談・ご応募ください。

応募先・問い合わせ

企画課 魅力発信係 ☎64-7711 メール kikaku@town.tamamura.lg.jp